

事務事業名		簡易水道配水給水維持管理事業		会計		簡易水道		実施区分			
H28担当課等名		水道課		H28係等名		維持係		H27係等名		維持係	
基本計画上の位置づけ		政策 4		暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり		事業種別		経常		開始	
		施策 45		居住基盤の向上						終了	
目的	対象(誰・何を)	市営簡易水道事業						指標名及び単位		27年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	適正に配水給水施設を維持管理することにより、公衆衛生の向上と生活・事業基盤の向上を図る						簡易水道事業数		1	
	向上させたい上位施策の成果指標	居住基盤の満足度									
目標	種別	指標名及び単位				27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	適正に維持管理された施設数 / 全施設数 × 100%				100	100	100	-		
	定性目標										
事業概要	配水給水施設を適正に維持管理及び改修することにより、水道法に定められた給水水質を満たした安全安心な水道水を安定的に供給する。										
27年度事業内容	事業内容					名称			活動指標		
	1 配水給水施設維持管理					1 配水管延長 2 給水栓数			1 49,028m 2 1,342栓		
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		5,724	13,285	17,513	10,598						
国庫支出金											
県支出金											
起債											
その他		2,602	3,056	7,961	5,020						
一般財源		3,122	10,229	9,552	5,578						
人件費計(千円)②		5,497		5,497							
正規職員所要時間		960		960							
臨時職員所要時間		1,920		1,920							
総事業費①+②		11,221	13,285	23,010	10,598						
事業内容・目標達成状況の振り返り	適正な維持管理ができ、安全安心な水道水を安定的に供給できた。										
改革改善の考え方	①問題点	水道事業は全般的に専門技術、知識、経験が必要であるが、職員の削減、人事異動、熟練職員の退職等により熟練した職員が少ないため職員の養成が必要である。									
	②改革提案	水道職員の適正な経験年数と適正人員の確保。									